

海燕

うみつばめ

第 3 8 号

2008. 7. 31

発行人 / 石井 暎禧

編集長 / 辻田 征男

副編集長 / 高本 哲男

石心会グループ

医療法人財団 石 心 会
 医療法人社団 光 和 会
 社会福祉法人 石心福祉会
 医療法人社団 新 緑 会

〒212-0013 川崎市幸区堀川町580ソリッドスクエア東館 4F
 TEL : 044-511-2266(代) FAX : 044-540-1135
<http://www.sekishinkai.or.jp>

夏に想う

理事長 石井 暎禧

暑い日々が続くと、なにもしないでも夕方には、ぐったり疲れてしまいます。しかし身体を動かさないと、体力は低下し、食欲もなくなるので、悪循環です。熱中症などで入院する患者さんも多くなります。病院職員がバテていては、始まりません。夏、医療者の任務の第一は自らの健康管理です。無理しても身体を動かし、汗をかかないと体力は低下します。そこで夏を迎えるわが法人の方針は、各人の体力づくりです。

と思って私も早起きし（実は歳をとって目が覚めてしまうのです）出勤前の運動をと決意し、海辺を散歩したり、気が向けば営業開始前の海水浴場で泳いだりしています。早朝の海は入る人もなく、独占した気分で爽快です。早朝に海沿いの散歩道で出会う人に年配者が多いのは、早く目が覚めるからで、早朝散歩は正に年配者に適した運動なのでしょう。これからの高齢社会は歳をとったからといって、のんびりとしてはられません。「老人よ身体を鍛えておけ」と昔懐かしいメロディーで高らかに歌っても、若い人には分からないでしょうね。

今年の夏、私は、冬のスキーのトレーニングを兼ねてパドボを始めることにしました。皆さんパドボって知っていますか？正式にはスタンドアップ・パドルボーディング、略してSUPとも言います。浮力のある大きなサーフボードに始めから立ってパドル（オール）で漕ぐのです。

プロのサーファーやウインドサーファーが、波や風のない時のトレーニング用に始めたら、とても面白くて評判になり、あっという間に世界的に広まったスポーツです。71歳の私にはいささかハードですが、でも、そんなに面白いものならやってみたいじゃありませんか。



本紙タイトル『海燕』は、M・ゴーリキーの散文詩《海燕の歌》（1901）に由来しています。その大意は以下のとおりであり、石心会のイノベーションマインドの象徴として採用しました。

……暗鬱な雲がたれこめ、雷鳴が轟く空と海。戸惑い騒ぐばかりの鳴らの群を尻目に、
 海燕は激しく飛び交い、暗雲と雷鳴を切り裂いて一直線に飛翔する。

（編集部によるダイジェスト）

看護師復職支援セミナーを開催

—潜在看護師を川崎幸病院、中原分院へ—

川崎幸病院 看護部長 佐藤 久美子

2006年4月の診療報酬同時改定、7:1看護配置の新設は全国規模での看護師争奪戦を生み出しました。これは7:1看護配置を目指している当院においても例外ではなく、看護師確保は従来に比べて格段に厳しい環境におかれるようになりました。政府ではFTAなど外国からの看護師採用も視野に入れた検討を進めていますが、その一方で全国に55万人いるといわれている潜在看護師の復職こそが看護師不足に対する最も有効な対策であるといわれています。当院ではいち早くこの潜在看護師の復職と確保に向けて、その戦略と仕組み作りに取りかかりました。「潜在看護師のための復職セミナー」はその重要な方策の一つです。

この「潜在看護師のための復職セミナー」は、子育てや介護などの理由によりいったん医療・看護の職場を離れ、現在は看護師免許を活かしていない看護師（潜在看護師）が、再度現場に

復帰できるよう、看護基本技術の復習や勤務条件の相談などを行うものです。昨年は2回実施しましたが、より多くの参加が得られるようさまざまな工夫を凝らしました。

特に、出産・子育て中の潜在看護師には保育室の無料利用サービスを提供しました。

もちろんセミナーへの

参加は無料、白衣貸し出し、昼食付きです。

1日だけの開催のため、内容は離職者が一番不安に思う注射・心肺蘇生を中心に実技研修とし、病棟体験も組み入れました。参加者の反応はおおむね良好で、中にはもう少し時間を長くしてじっくり研修を受けたいという声も聞かれました。特に注射関係の実技演習では、病院職員に採血のために腕を出していただくなどの協力体制を取り、臨場感あふれる研修ができました。参加者の中からは、数年現場から離れていて、そこからすぐに常勤職員に復帰するのは不安、との声もあったことから、こうした方々の状況をふまえ、段階的に現場に復帰できるよう、日勤専従・フレックスタイム制などの柔軟な勤務体制の整備を進めました。2回のセミナーへの参加者は計16名、うち6名が復職、採用につながりました。人材紹介会社や求人広告会社への多額の

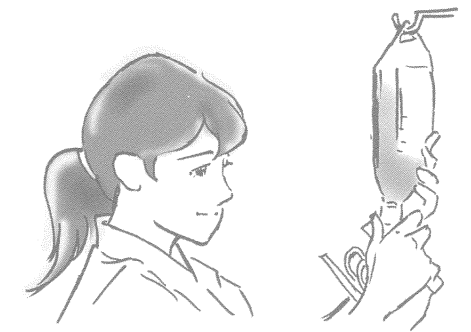


〈復職希望者からの相談に親身に応じる佐藤看護部長〉

費用が必要とされる現在の求人状況において、復職を希望する潜在看護師の皆さんとface to faceで接し、互いを見極めながら、採用へとつながるこのセミナーは非常に有効な看護師確保施策であるといえます。この復職セミナーに参加して当院に復職を果たした看護師から、彼女の元同僚や友人に話が広がり、今年度開催のセミナーも当初の予想を超えて盛況となっています。現在、2回目が終了したところですが、参加者からはすでに具体的な採用や復職に関する条件について相談が来ています。当院では今後も看護師確保対策の一環としてこの「潜在看護師のための復職セミナー」を続け、資格を

持った人が働き続けることのできる職場環境を整えていきたいと考えています。

看護師が働きやすい職場環境は女性が働きやすい職場であり、それはすべての人が働きやすい職場であると考えています。次の課題は、働きやすく、働き甲斐のある職場です。



★トピックス①

川崎幸病院 新病院建設

5月30日、神奈川新聞の川崎版のトップに川崎幸病院新病院建設の記事が載りました。又、同日川崎市住宅供給公社との間で敷地となる土地の譲渡契約が結ばれました。これで、新病院建設は新たな

段階に入ったといえます。今後は、来年7月の着工に向けて、各セクションの動線と器具備品の配置を図面に盛り込む実施設計のためのヒアリングが始まります。

川崎駅西口・大宮町地区 都市型住宅と一体



川崎駅西口に誕生する複合施設のイメージ

川崎駅西口の川崎幸病院地区に、救急救命機能を有する医療機関と都市型住宅が一体となった複合施設が誕生する。川崎市住宅供給公社と医療法人財団石心会（同市幸区）の共同事業で、六月から都市計画手続きに入る。計画では住宅棟は二〇二一年一月、病院棟は同年十月の完成予定。
（二木 崇）

工場跡地などに
民間活力を導入

老朽化した市営住宅や旧公団住宅、東芝の工場跡地など、用途が混在していた大宮町地区約八・二万平方メートルのうち、同公社が東芝から取得した下街区約五千四百平方メートルを民間活力を導入して再開発する。住宅棟と病院棟を一体的に開発し、総床面積は約二万六千八百平方メートル。住宅棟は地上二十三階、地下一階建て。分譲マンションが建設され、商業・業務機能と住宅が一体となったまちづくりが進んでいる。

大宮町地区には音楽ホールと商業の複合施設「ミニサザカ」などが建設され、商業・業務機能と住宅が一体となったまちづくりが進んでいる。

設の一部を統廃合する。病院棟は地上十一階、地下一階建て。入院床二百六十五床に加え人工透析用六十五床、救急救命室（ICU）十五床を設ける。循環器や脳血管、消化器などの専門医療を充実する方針で、石心会は立地が恵まれていることから救急医療センターの機能を強化させたいとしている。

（2008年（平成20年）5月30日 神奈川新聞掲載）

★トピックス②

川崎幸病院 EMT (Emergency Medical Technician)科 発足！

■「断らない救急医療」

実践の目玉となるか？

平成20年4月1日、川崎幸病院にEMT科が発足、稼働しました。EMT科は救急部長の指揮下にあって救急受入を推進する専任チームで、メンバーは救急救命士3名(常勤2名、非常勤1名)。その主な業務は、救急外来での診療の補助業務と救急搬送業務ですが、これによって救急担当医師、看護師が本来の医療、看護業務に専念、EMTはその機動力で救急医療を支えます。

川崎幸病院の平成20年度基本方針は「断らない救急の実践」であり、年間の救急車受入台数が3,822件(平成19年度・新規入院患者のうち30%弱が救急車搬送患者)にのぼる川崎幸病院は正に地域の救急医療の要となっており、地域の人々の

期待を一身に集めていると言って過言ではありません。しかしながら、これまで、川崎幸病院では必ずしも救急搬送をスムーズに受け入れているとはいえない状況がしばしば見られました。今回のEMT科発足はこの問題を救急対応スタッフの強化によって、大きく改善するものとして期待されています。



ミュージック・サロン



■さやま総合クリニック

第15回ヘルシーコンサート♪

今回はチェロとピアノによるデュオ演奏です。繊細なピアノの音色に、時にささやくように、時に歌い上げるように、チェロが豊かなメロディーをのせていきます。2つの楽器が互いに語り合うような演奏は会場の聴衆を魅了しました。

- 日時：6月21日(土)
- 会場：3階ピアノホール
- 出演：アーケイディア・デュオ：玉木光(チェロ)、赤木舞(ピアノ)
- 曲目：カサド：親愛なる言葉、シューベルト：セレナーデ、サン＝サーンス：白鳥 聴衆：70名

※演奏家プロフィール

玉木光：イーストマン音楽院を経てライス大学卒業。ノースウェスタン大学院にてハンス・イェンセン氏に師事、修士号を得る。2000年ピバホール国際コンクールにて入賞。2001年にはインディアナ州フォートウェイン・フィルハーモニー管弦楽団首席チェロに就任。

赤木舞：イーストマン音楽院卒業、同大学院修士課程修了。帰国後、東京芸術大学大学院音楽研究科にて博士号を取得。

☆ヘルシーコンサートのいわれ☆

2003年3月、狭山総合クリニックの院長に就任した青山医師(現狭山病院長)が、クリニックを診療の場としてだけでなく、地域の人たちの文化的な交流の場にしたいと考え、私財でピアノを購入して提供するとともに、毎週土曜日の午後からピアノ演奏を主体にした「ヘルシーコンサート」を開催することを決めました。ホームページにも紹介していますが、このピアノは世界最高峰といわれる「スタインウェイ アンド サンズ」のコンサート用グランドピアノで、2000年のショパンコンクールで圧倒的な実力で一位優勝した中国のピアニストコンディ・リが練習用に愛用したものです。

■川崎幸病院中原分院

第1回うるおいコンサート♪

川崎幸病院中原分院で初の院内コンサートが開催されました。これは入院患者さんやそのご家族に憩いの時を、そして地域住民の皆さんに中原分院をご紹介する目的で開催されたものです。当日は東京フィルハーモニー交響楽団メンバーによるバイオリンデュエット演奏でした。会場の皆さんは美しい弦楽器の響きを十分に堪能した様子で、このコンサートで初めて中原分院を知ったという方も大勢いらっしゃいました。

- 日時：6月21日(土)
- 会場：川崎幸病院中原分院1階ロビー
- 出演：澤菜若：東京フィルハーモニー交響楽団(東京芸大卒)、玄津舞：現在フリー(武蔵野音大卒同大エミネンス修了)
- 曲目：アメージンググレイス、千の風によって、2つのバイオリンの為の協奏曲 ほか



■川崎幸病院&川崎幸クリニック

第21回うるおいコンサート♪

★ゼロさん合唱団★は早稲田大学の合唱サークルOB・OGで結成されたグループ。グループ名の「ゼロさん」は2003年度大学入学のメンバーが中心となって活動していることから命名されています。川崎幸病院管理室の廣津職員(早稲田大学卒)もメンバーの一員です。当日は唱歌や童謡を中心に誰もが聞き馴染みのある曲目を若いはずと歌声でおとどけしました。川崎幸病院での演奏には入院患者の皆さんも聴衆としてたくさん来られ、合唱団と声を合わせて歌を楽しむ情景が見られました。

- 日時：6月14日(土)
- 会場：川崎幸病院リハビリ室、川崎幸クリニック ロビー
- 出演：★ゼロさん合唱団★
- 曲目：ヒスイ、ふるさと、花、線路は続くよどこまでも、ほか



《趣味探訪》

『趣味はスポーツ！』

狭山病院 看護部西病棟科長 大原 絹代

今日まで自慢できる大会成績などないのですが、これが趣味ですと言えるものはスポーツで、暇さえあれば(わざわざ時間を作ってのほうは正確かもしれませんが)体を動かしています。1番好きなのはテニス、他にジョギング、スキー、あまりメジャーではないかもしれませんがインディアカ(※)なども何年前にやっていました。それでは、私のスポーツ遍歴の一端をお話します。

中学時代に始めたテニスは自分に一番あったスポーツです。結婚して子育てが一段落するまで中止していたのですが、子供の授業参観で一人仲間を見つけ、当初二人で打ち合いをしてそれで満足していたのですが、その内今のサークル仲間のリーダーに声をかけられそれが現在に至っています。サークル内の男性陣はなぜか殆どが消防士さんで、彼らの速い球に慣れ、少し上手くなった気がしてきたある日、74才のプレーヤーに負けてしまいました。この方は、力でなく、こちらのミスを狙って嫌なボールを送ってきます。さすが熟練のプレーと感心してしまいました。これからの希望としては、石心会グループでテニス大会が開けるとよいなと思っています。

嫌いなはずのマラソンが大好きに!

大嫌いだった持久走が、今では走らないと体がおかしくなってしまうほど好きになりました。高校時代に持久走大会の日は登校拒否をしたくなるほど嫌いでした。あんな苦しい競技のどこがいいのか全く理解できませんでした。それなのに2年前、看護部の福島科長に突然青梅マラソンに出よう!と声を掛けられ、何故か軽い乗りでウンと答えてしまったのです。これまで5kmをやっとの思いで走った経験しかないのに、



〈コートをかける青春? テニスに夢中……大原科長:左写真中央、右写真前列左〉



〈楽しい仲間たちと……大原科長:右手前〉

その後10km走ると聞いた時は大きな後悔の念にかられ、おもわず断ろうと思いました。しかし、マラソンが趣味の夫に走り方を聞いたところ、とにかく止まらないで苦しくなったらペースを落として走ること、と教えてもらい試しにそのように走ってみたらなんと初めてにして10km完走できたのです。走り方を知っていれば(実はそれまで嫌いな運動という自分の感情で夫の言うことなど訊かなかったのですが)こんな気持ちのいいスポーツはない、何でもっと若いときに判らなかったのかと悔しい思いをしています。青梅マラソン大会のタイムは悪くはなかったのですが、前走者を追い越すタイミングや大勢の人をすり抜けるスペースが見つけれなくて、もっと早くゴールできたのではと納得のいくタイムではありませんでした。しかし、出場した福島科長をはじめ仲間達と苦しかったけれど完走できた、1つの事を達成した喜びは快感でした。今は木々の色や草花の匂い、空気の冷たさなど季節を肌で感じながらたっぷりの汗をかいて走っています。メタボ対策に一番格安で簡単にできるのはジョギングではないかと思えます。だってちょっと良いシューズがあればいいんですから。スポーツをすることは体力をつけることだけが目的ではなく、苦痛に耐える忍耐力・チームワークを通して相手を思いやること・感情のコントロール・コミュニケーションの大切さ等精神面から得られるものもたくさんあります。初めは石ころを避けるのもきつかったのが、今では1時間以上走っていても色々な事を考えられるようになりました。苦しくてやめたくなることもあります。そんな時こうやって走ってられる健康で幸せな自分に気づくと又元気が出ます。何事も継続は力なり!継続していれば、途中が苦しいからこそ大きな達成感を得られます。これからも元気に走り続けます。

※編集部注:【インディアカ】

インディアカ(独:Indiaca)はドイツ発祥のスポーツである。羽根のついたボール(ボールのことも「インディアカ」と呼ぶ)を手(肘より先)を用いて4対4で打ち合う(世界ルールでは5対5)。

《読書のすすめ》

—編集部より—

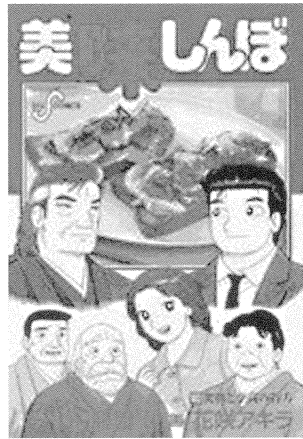
■美味しんぼ102巻『究極と至高の行方』

作：雁屋哲 画：花咲アキラ

小学館：¥550.-

ご存知海原ライオンと山岡ネズミの戦いは、ここに、歴史的和解成る!?

海原と山岡、互いに掛け違ったボタンを「家族の愛」をテーマに、最終戦争を展開する。なんと、採点基準は以下に相手を喜ばせる料理を作るかだという。そして、ついに親子二人の歴史的和解は成った。だが、対立は終わったが対決は終わら



ない。ああ、恐ろしい。身の毛もよだつ戦いはこれからもなお、「日本全県味めぐり」に舞台を移して果てしなく続くのである。

■ジェネラル・ルージュの凱旋

作：海堂尊 宝島社：¥1,680.-

ジェネラル・ルージュとは、血まみれ将軍の事。そして、ここ東城大学付属病院救命救急センターの部長速水は畏敬の念を込めて病院中の職員からこう呼ばれている。

「チームバチスタ事件」で世間の輿論を買った東城大学。痛手から立ち直ろうとする大学病院を又してもスキャンダルの渦に巻き込むのか。その主人公は救命救急医療に命を懸け、ドクターヘリの導入を夢見る通称オレンジ新棟の主ジェネラル・ルージュこと速水部長である。

舞台は、救命救急の第一線。作者が一連の作品のテーマにしているAI(オートプシー イメージング)=死亡時画像病理診断が威力を発揮する場面も登場する。相変わらず、ストーリーは荒唐無稽だがその細部の描写のリアリティーに圧倒される。いや、テーマの重さが話の荒唐無稽さによって救われているのかも知れない。面白くてタメになる本。

★トピックス③

【川崎幸病院】

- 4月3日 川崎幸クリニック合同新入職員オリエンテーション in ソリッドスクエア
- 5月2, 9, 20日 映画『シッコ』職員向け上映会 in 研修室
- 6月6日 資格取得者お祝い会 (対象者37名)
- 6月14日 うるおいコンサート
- 出張講演 (公開講座)
 - ・ 6月14日 桜本二丁目町内会主催『生活習慣病と心臓疾患について』 (講師: 副院長・心臓病センター長/塚本喜昭) 桜本福祉会館 参加者43名
 - ・ 6月28日 川崎高校PTA成人委員会主催『生活習慣病と心臓疾患について』 (講師: 副院長・心臓病センター長/塚本喜昭) 県立川崎高校視聴覚室 参加者54名

●イブニングセミナー(登録医向け勉強会)

- ・ 4月24日 『消化器病センター外科2007』(講師: 外科医局員一同) 参加者39名
- ・ 6月25日 『当院の循環器画像診断と最近のトピックス』 (講師: 聖マリアンナ医科大学放射線医学教室助教/小川普久先生) 参加者40名

●定例救急隊勉強会(市内、鶴見の救急隊員が参加されました)

- ・ 5月22, 23日 『気道管理』(講師: 救急部副部長/三村琢也) 参加者計42名

●院内勉強会

- ・ 5月8日 『院内感染(耐性菌と手洗い)』(検査科主催)
- ・ 6月10日 『放射線科の検査紹介・注意点/放射線の被曝と防護について』(放射線科主催)

●NST委員会主催勉強会

- ・ 4月30日 『エビデンスに基づいた褥瘡管理』
- ・ 5月28日 『メタボリックアナライザー』
- ・ 6月25日 『褥瘡と栄養管理』

【川崎幸病院中原分院】

- 6月21日 うるおいコンサート
- 公開講座
 - ・ 5月31日 『糖尿病について』(講師: 副院長・内科部長/沢 丞) 参加者57名

【狭山病院】

- 4月1日 埼玉県がん診療指定病院指定 NST稼働施設認定 平成20年度診療報酬改定に伴う施設基準届出 (17項目)
- 4月3, 4日 狭山地区事業所新入職員オリエンテーション 参加者64名
- 5月11~17日 ふれあい看護週間 ※12日のふれあい看護体験に8名の方が参加
- 5月26~27日 平成20年度チャレンジシート発表会 狭山地区事業所の診療部を除く各部門の責任者が平成20年度業務目標等を発表
- 6月1日 医師事務作業補助体制加算届出
- 6月1日 平成20年度新入職員歓迎バーベキュー大会 (参加者: 職員201名を含む294名)
- 6月19日 献血 (埼玉県赤十字血液センター主催) ※96名の職員が献血に協力しました。(受付人数127名)
- 6月21日 看護学生就職説明会・再就職支援セミナー (所沢ミュージアムにて開催)
- 7月1日 埋込型除細動器移植術及び埋込型除細動器交換術届出
- 院内勉強会
 - ・ 6月13日 『褥瘡について学ぶ』 参加者72名
 - ・ 6月30日 『感染対策の基礎』 参加者118名
- 地域医療連携・公開カンファレンス
 - ・ 4月11日 『平成20年度診療報酬改正について』 (講師: さやま総合クリニック患者サービス課係長/内藤博之) 参加者77名
 - ・ 4月18日 『前立腺癌のわかりやすいお話』(講師: 泌尿器科副部長/岡本増巳) 参加者94名
 - ・ 5月23日 『MDCTを用いた画像診断』(講師: 放射線科部長/齋藤拓郎) 参加者131名
 - ・ 6月5日 『創傷、熱傷、褥瘡の最近の処置』(講師: 皮膚科/神戸有希) 参加者40名



【川崎幸クリニック】

●糖尿病公開講座 講師：内科医師/安島美保、管理栄養士、理学療法士、看護師

・4月5日 参加19名、6月5日 参加11名

●気功教室 講師：臨床心理士/稲富正治

・4月22日 参加6名 ・5月21日 参加11名 ・6月24日 参加8名

●心理相談室公開講座

・5月 『うつの人を支えよう』 参加者4名

・6月 『思春期の親ばなれ・子ばなれ』 参加者5名

【さやま総合クリニック】

●6月21日 ヘルシーコンサート

●健康教室 参加者各回15名

・4月10日 『糖尿病について～糖尿病ってどんな病気？～』（講師：内科医師/三好洋二）

・5月1日 『旬の野菜を食べよう』（講師：管理栄養士/蒲池裕子）

・6月5日 『糖尿病のくすりについて～飲み薬とインスリン～』（講師：薬剤師/小倉弥生）

・6月14日 『健康食品・サプリメントの基礎知識』（講師：薬剤師/関理恵）

【さいわい鹿島田クリニック】

●健康講座 ・5月21日 第22回『生活習慣病を防ぐ食事〈第3弾〉』

～メタボリックシンドロームを予防・改善する食事と運動のコツ～

【昭島腎クリニック】

●院内勉強会

・4月3日 ・『閉塞性動脈硬化症～透析患者の足病変』 参加者62名

・5月8日 ・『生体腎移植について』 東京医大八王子医療センター移植外科/今野理先生

・6月13日 ・『超音波ドップラー法によるシャント血流量測定の経験』 院長/栗本義直

・6月17日 ・『バスキューラアクセス穿刺～ポータブルエコーの使用経験』 透析技術課/渡邊徹

【新緑会脳神経外科】

●出張講演

・5月28日 『癌の免疫治療』（副院長〈脳神経外科〉/吉水信裕）in中国山東省煙台 煙台山病院

・6月17日 『転倒した時の立ち上がり方』（リハビリテーション科長/麻生義行）

in中途障害者地域活動センター・フェニックス旭

【立川新緑クリニック】

●4月18日 放射線室変更許可（立川多摩保健所）

●5月1日 208号室（旧ICU）開室

●6月17日 救急連絡総会出席（島田院長）

【立川介護老人保健施設わかば】

●6月20日 ボランティア交流会『思いやりについて』

（講師：(社)日本産業カウンセラー協会/林 泰昭）参加者（ボランティア）9名/（職員）8名

●勉強会

・4月16日 『誤嚥防止に向けて』参加者28名

・5月21日 『吸引について』参加者28名